

お名前（ 北野留美 ）

習った芸能（ 宮古：津軽石さんさ／陸前高田：田束念仏鎧剣舞／八戸：十一日町えんぶり組 ）

1) 三陸の芸能を習ってみていかがでしたか？

やってみるとみているのでは大違いで、こんなにたいへんなことを、と思い知りました。しかも実際の祭事を見に行ったことはないどころか、その地に行ったことのないところの芸能を習ったので、当地の気候を想像し、土地の人たちのしゃべりかたなどで、雰囲気を知ろうとするのは得難い体験でした。

2) 今回はオンラインでの芸能体験でしたが、率直にいかがでしたか？良かった点、困った点をお聞かせください。（応募、事前準備、受講のことなど）

画面を見ながら動作を学ぶということに慣れていないので、左右がわからなくなったり、回転の向きがわからなくなったりで苦労しました。事前に道具を手づくりして用意するのがたのしかったです。

3) 受講をされて、ご自身のアーティスト活動において、どのような影響、意味があると思われましたか？

今回、三陸の北から南へと3ヶ所（八戸・宮古・陸前高田）の芸能を習い、それぞれに関わっている方々のおはなしをうかがったりするうちにそれぞれの芸能に類似する部分が少しずつですがみえてきました。それぞれの土地の歴史や地理を含みながら図示してみたいという自らの課題の糧になっていくと思います。

4) 今後も三陸の郷土芸能を習いたい、通いたいと思われたときに、AIR以外にどのような方法や制度があると良いと思われますか？

1. 芸能を習うプログラムの中に芸能に使う道具を作ってみるワークショップがもしできたら、その実施要員として通うことができたらなあと思います。今回、陸前高田の田束剣舞に使う腰に巻きつけてお尻のところにかぶさる「シカ」をみせていただきましたが、そういったものを真似して作ってみたいと思いました。

2. 伝承が消えそうなものを記録しておく調査員を兼ねて通うことができたら、とも思いました。今回、宮古の津軽石さんさのときおききしたんですが、過去には七五調のうたがうたわれていたが、

現在ひきついでいる人はいないとのこと。しかしどんなものだったかご存知のかたはいらっしゃるとのことなので、文言は記録されているようでしたが、節まわしを再現して動画や音源などで記録したいと思いました。

5) 上記以外にご意見や感想がございましたら、自由にお書きください。

オンラインで習うということで、どんなことができるのか知りたいと思うのもあって参加しましたが、思いのほか、それぞれの土地の雰囲気は伝わってきました。教えてくださる方々はひとつところにお集りいただくので、場の空気感がネット上でもかなり共有できている気がしました。地域の紹介や衣装、道具の解説も詳しく行ってくださりありがたかったです。

ぜひ、三陸の郷土芸能に会いに来てください。ご協力ありがとうございました。